

スズキのフィリピン子会社スズキフィリピン社が 50 周年記念式典を開催



スズキ株式会社（以下スズキ）は、1975 年にフィリピンで事業を開始してから 50 周年を迎えました。これを記念し、スズキのフィリピン子会社スズキフィリピン社（以下 SPH）は 6 月 13 日にフィリピンのマニラで 50 周年記念式典を開催しました。この式典には、スズキの鈴木俊宏代表取締役社長、SPH の平尾浩一郎社長の出席のもと、販売店や関係者など約 400 名にご参加いただきました。

スズキは 1975 年にフィリピンで合弁会社、アントニオ・スズキ社を設立し、二輪車の生産および販売を開始しました。1985 年には社名をスズキフィリピン社に改め、2012 年には拡大する二輪車の需要に対応するため、現在の年間約 20 万台まで生産能力を拡大しました。また、1999 年には四輪車、2016 年には船外機の販売も開始しました。

代表取締役社長 鈴木俊宏のコメント

「これまでの 50 年間にわたり、スズキフィリピンを支えてくださったフィリピンの皆様、政府関係者の皆様、販売店の皆様、サプライヤーの皆様、そしてお客様に心より感謝申し上げます。モビリティの需要が拡大するフィリピンは、スズキにとって成長を続ける重要な市場です。スズキは、『生活に密着したインフラモビリティ』を目指し、今後もフィリピンで魅力的な商品を提供し続けることをお約束いたします。」

●SPH 概要（2025 年 3 月末現在）

設 立：1985 年

生 産 開 始：1985 年 2 月

本社所在地：カランバ

資 本 金：38 億 3,266 万フィリピンペソ

従 業 員 数：約 900 名

累 計 生 産：二輪車 約 283 万台

累 計 販 売：二輪車 約 279 万台

四輪車 約 22 万台



●SPH の略史

1975 年 スズキが 40%を出資し、合弁会社アントニオ・スズキ社を設立
二輪車の生産、販売を開始

1985 年 アントニオ・スズキ社を完全子会社化、社名をスズキフィリピン社に変更

1999 年 四輪車の販売を開始

2012 年 パシッグ市からカランバ市に工場を移転、操業開始

2016 年 船外機の販売開始

以上